

令和2年度（2020年度） 事業実績報告書

1. 申請者の概要

申請者	団体名		熊取町商工会
	代表者職・氏名		会長 辻 正義
	所在地		〒590-0451 大阪府泉南郡熊取町野田2-9-20
	担当者	職・氏名	事務局長 東 英彦
		連絡先	TEL（直通）：
Fax：			072-453-8183
		E-mail：	kumatori@silver.ocn.ne.jp
①設立年月日		昭和59年7月10日	
②職員数 （うち経営指導員数）		5名（経営指導員5名）（令和3年3月31日現在）	
③所管地域			
④管内事業所数		1239（平成28年度経済センサス）	
⑤管内小規模事業者数		892（平成28年度経済センサス）	
⑥会員数（組織率）		705（令和3年3月31日現在）	
		※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること	
<input type="checkbox"/> 主な事業概要（定款記載事項等）			
<p>①商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと。</p> <p>②商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。</p> <p>③商工業に関する調査研究を行うこと。</p> <p>④商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。</p> <p>⑤展示会、共進会を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと。</p> <p>⑥商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。</p> <p>⑦商工会としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。</p> <p>⑧行政庁等諮問に応じて、答申すること。</p> <p>⑨社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。</p> <p>⑩商工業者の委託を受けて、当該商工業者が行うべき事務（その従業員のための事務を含む。）を処理すること。</p> <p>⑪商工業者の福利厚生に資する事業を行うこと。</p> <p>⑫行政庁から委託を受けて事業を行うこと。</p> <p>⑬外国人研修生の受入れに関する事業を行うこと。</p> <p>⑭前各号に掲げるもののほか、本商工会の目的を達成するために必要な事務を行うこと。</p>			

<p>(1) 事業の目標</p> <p>熊取町商工会は、小規模事業者が抱える経営課題を把握解決するため、経営指導員が窓口・巡回指導を行い、事業所のカルテ、サービス提案や施策のPR、情報の発信を行い、様々な面からの確に相談支援を総合的に実行して事業所の安定的持続発展に寄与することを目的としている。また専門的な課題については、各関係支援機関、専門家等と連携を図り、その解決に向けたきめ細やかな支援を行うとともに、事業者が持つ課題を解決に導く。また地域活性化事業については、事業承継、BCP策定、創業支援、販路拡大など事業所の参加を促す事業を開催するとともに、大阪府との連携や近隣商工会・商工会議所と広域連携、および熊取町との連携を図り、事業を積極的に展開することで、より多くの参加事業者のビジネスチャンス創出や販路拡大に繋げ、ひいては活力のある地域商工業の発展に寄与する事が重要な目標である。</p>
<p>(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点</p> <p>経営指導員による相談支援事業は、事業者の抱える経営課題や問題点を把握するため、窓口・巡回時において事業者とより多く接点を持つよう心掛け親切、丁寧な指導に取り組んだ。また、経営指導員間ではカルテ等で情報を共有し、事業所の課題を把握してニーズに沿った情報の提供や提案等を図り、経営課題の解決に経営指導員が一丸となり、迅速かつ的確な支援を行う事に努めた。そして専門的な課題の解決は、関係機関や専門家との連携を保ちながら、諸問題を解決するため専門相談事業へ導く様に心掛けた。税務支援は、年末調整・確定申告時期を重点的に支援し、消費税の軽減税率への対応などにより、高度で複雑な問題の解決に対応するための相談窓口を設けた。今年度より金融支援を計画し、新型コロナ等で資金繰りに苦慮する事業者の金融相談会を経て資金調達に導く事が出来た。地域活性化事業は、府・各市町・各商工会と連携して、新型コロナ対策を講じながらDMや熊取町と連携した広報等により、事業のPRを実施した。また各事業に沿うように事業所の個別訪問を行い、地域活性化事業への参加を促す事ができた。地域ブランドくまとりやもん事業は参加事業所の認知度を高め、新規顧客の獲得のための事業所のPRを行い、新型コロナに対応すべく開催内容としてより一層効果的に出来るよう、経営指導での訪問の際に効率的な情報発信を行い、事業者に寄添いながら支援する事が出来た。創業セミナー事業は、大阪産業局との連携により講師を派遣して頂き、これから起業する方が参加し易くするために参加無料で開催する事ができた。キャッシュレス化推進セミナーでは、大阪府やJPQR事務局と連携し、国が推進する統一QRコードJPQRを広く推進させるセミナーを開催する事が出来た。くまとり産業フェアは、開催に向け新型コロナ対策を万全に講じ準備を進めてきたが、開催直前に新型コロナ第3波が感染拡大し止むなく中止となった。</p>
<p>(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況</p> <p>今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受ける中、商工会における令和2年度事業は、様々な方法や感染防止対策をしての実施となった。開催中止になる地活事業もあったがセミナー等はリモート開催など創意工夫を凝らして行った。この様なリモートによるセミナー事業は今後積極的に取り入れて行きたいと思う。相談支援事業も新型コロナの影響で相談件数は増加し、改めて商工会は地元の中小零細企業の良きパートナーであり、身近な相談窓口である事を再認識させられた。そしてコロナ禍での相談支援事業は、事業所を訪問することで様々な課題が浮き彫りとなるため、その課題解決に向け、積極的な情報提供や提案等を行うとともに、事業所のニーズを迅速かつ的確に把握するため、課題解決や問題への対応を速やかに行い、効果的な支援ができた。また、地域活性化事業の創業セミナーは、昨年度に引き続き大阪産業局から講師を派遣して頂き、定員以上の申込みがあり充実したセミナーとなった。年度中には一事業者の方が開業を積極的に考えておられアシストする事ができた。キャッシュレス化推進セミナーは、JPQR普及事務局から講師をお招きする際、大阪府でJPQR事務局に繋いで頂きセミナーがスムーズに開催できた。地域柄まだまだキャッシュレス化は地元の個店には浸透していないが、興味のある事業所の参加も多く、今後も引き続き力を入れ推進を図る。BCP・BCM促進セミナーは、新型コロナの影響でウイルス感染も盛込んだセミナー開催となり、大阪府が推奨する「超簡易版BCP『これだけは!』シート」の作成、充実、成果のあるセミナーとなった。地域ブランドくまとりやもん事業は、当初計画していた内容を新型コロナ対応に工夫をして事業所PR時期を分散する事で対応、多くの方に熊取町のブランド認定事業所の商品を効果的にPRする事ができた。くまとり産業フェアは残念ながら中止となったが、参加予定の事業所からは来年度の開催を望む声もあった。専門相談支援事業は、税務相談を実施して年末調整、確定申告、軽減税率への専門的な相談など、税の正しい認識と申告納税へと導く事ができた。今年度から専門相談支援事業として金融相談事業を開催。毎月一回日本政策金融公庫担当者の派遣の協力を頂きマルケイに関しては1.4倍の申込件数となった。</p>
<p>(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題</p> <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受ける中、相談支援事業・専門相談支援事業・地域活性化事業等の商工会を活用した事業所については、効果や実績など一定の高評価を残すことができ、現在も伴走的な事業所に寄添った支援ができています。しかしながら、商工会を活用されていない事業所やイベント・セミナーなどに参加できていない事業所も数多く、なお一層の地域の商工業者の方に活用して頂くため、より良い情報の提供や提案等を積極的に行い浸透を図っていく必要がある。また後継者問題や創業支援にも積極的に取り組み、地域活力の向上を図るべく地域経済全体に活力が行き渡るよう事業展開する必要があり、商工会としては、これらを多くの事業所に活用して頂けるよう企画・提案する必要があります。</p>
<p>(5) 次年度の取り組み</p> <p>一昨年度末より世界を震撼させている新型コロナウイルス問題は、地域中小零細企業にとっても大きな問題となって容赦なく襲っている。そのような状況下で熊取町商工会としては、来年度もより一層、経営相談支援・専門相談支援、地域活性化事業の浸透を図り、多くの企業に活用して頂けるよう各種情報の提供や提案、掘起しなどを積極的に行い、事業所に寄添いながら企業の抱える経営課題や問題点を把握し、事業所に問題提起してより効果的な解決策を講じ、地域の活力を向上させていく。また熊取町と連携を図り、地域ブランドくまとりやもん事業や情報発信事業などを実施し、地域の賑わいづくりを推進していく。昨年に引き続き、キャッシュレスセミナーや創業セミナー、BCPセミナーなどを実施して熊取町の活性化に貢献していく。</p>

3. 経営相談支援事業・専門相談支援事業 熊取町商工会

I 経営相談支援事業

支援のポイント・成果

熊取町商工会では地域商工業者の経営課題を明確にする為に従前から経営指導員間の情報共有を図り、窓口相談、巡回相談の積極的な推進を心掛けてきた。その結果、事業所が抱える経営問題を把握し、その問題解決に向けた手法を提案する事ができた。一年を通して事業所が抱える諸問題の解決に向けた方策等を適切に支援している所ではあるが、地域内の事業所を取り巻く環境は非常に厳しく、様々な支援が求められる状況が続いている。また、大阪産業局をはじめ各種関係機関や専門家等との連携を図り、より高度な案件の対応も行っている。その結果の一つとして、平成29年度から始めた熊取町のマルケイ融資の利子補給制度は徐々に浸透しており、マルケイ申込件数は39件と過去最高件数となった。これは令和2年度から日本政策金融公庫と連携を図り、新規に金融相談会を実施した事も要因であり、各関係機関との連携を密にする事で地域の発展に貢献する事ができている。また、ワンストップ的な機能を果たすことにより、経営の改善等に役立てて頂くこともできた。今後も事業所と商工会の連携を密にして、商工会への信頼性・信用性の強化を図り各種支援やサービス向上に努めることで、地域商工業の振興、発展に繋げていきたい。

(代表事例)

飲食店：新型コロナウイルス感染症の影響を受け、売り上げが大幅に減少。緊急事態宣言により休業を余儀なくされたが、持続化給付金や家賃支援給付金などの給付金の申請をサポートすることで、資金繰りの悪化を防ぐことができた。また、アルバイト従業員のほとんどが近隣の大学に在学している学生であり、シフトを減らすことは下宿生活を送っている彼らの生活を困窮化させるため、手厚い休業補償を行いたいとの相談もあり、雇用調整助成金の活用を支援した。その他にも店内の感染防止対策についての相談支援を行うなど、コロナ禍の中で事業を継続するための支援をおこなってきた。さらに、2度目の緊急事態宣言の際には、協力金の受給までの間の資金繰りに不安を感じるなどの相談があったため、資金繰り計画表の作成を支援し、日本政策金融公庫への追加融資の活用に向けて促した。

支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
事業所カルテ・サービス提案	事業所	204	233	114.2%	5
支援機関等へのつなぎ	支援数	5	2	40.0%	3
金融支援（紹介型）	支援数	5	10	200.0%	5
金融支援（経営指導型）	支援数	35	41	117.1%	5
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	1	0	0.0%	
資金繰り計画作成支援	事業所	20	15	75.0%	4
記帳支援	事業所	50	23	46.0%	3
労務支援	支援数	30	36	120.0%	5
人材育成計画作成支援	事業所	1	0	0.0%	
マーケティング力向上支援	事業所	1	0	0.0%	
販路開拓支援	支援数	50	50	100.0%	5
事業計画作成支援	支援数	15	16	106.7%	5
創業支援	事業所	1	0	0.0%	
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	15	15	100.0%	5
コスト削減計画作成支援	事業所	50	71	142.0%	5
財務分析支援	事業所	5	1	20.0%	3
5S支援	事業所	69	69	100.0%	5
IT化支援	事業所	1	1	100.0%	5
債権保全計画作成支援	事業所	1	0	0.0%	
事業承継支援	事業所	3	0	0.0%	
災害時対応支援	事業所	179	179	100.0%	5
フォローアップ支援	事業所	50	0	0.0%	5
結果報告	事業所	204	233	114.2%	5

II 専門相談支援事業

支援のポイント・成果

熊取町商工会では年間を通じて税務相談を随時実施しました。また確定申告期間には、事業者の持つ複雑な問題を解決すべく相談会に専門家を招くことで、的確な課題解決に導く事ができた。また専門家相談の実施により、事業者の税制に対する理解も深まった。また、今年度より日本政策金融公庫と連携し金融相談会を毎月1回開催した事により、令和2年度のマルケイが過去最高の申込件数となり成果を上げることができた。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
税務相談	継続	相談件数	20	20	100.0%	
金融相談	新規/継続	相談件数	12	12	100.0%	

Ⅲ 地域活性化事業										
支援のポイント・成果										
<p>創業セミナーは大阪産業局からの講師を派遣して頂く事で、より高度なセミナーを開催する事ができた。また新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、定員以上の申込みがあったが数名の方をお断りする様な残念な事となった。地域ブランドくまとりやもん事業は当初予定していた開催内容をこれも新型コロナ感染拡大防止のため、集客方法を長期分散型に変えての開催とし工夫を凝らす事で地域ブランドをより多くの方にPRでき、事業所への集客導きの一助となった。情報発信事業は昨年から熊取町図書館とコラボしての開催。毎月1事業所の展示PRとその事業所に関連した図書の展示で相乗効果を狙い開催する事ができた。BCP・BCM普及促進セミナーは、大阪府と連携してセミナー参加者に「超簡易版BCP『これだけは！』シート」を作成して頂く事ができた。キャッシュレス化推進セミナーはJPQRを中心としたセミナー開催となった。地域柄まだまだ手つかずの事業所はあるが、興味をお持ちの方が沢山おられセミナーに参加して頂く事ができた。くまとり産業フェアは開催に向けて新型コロナ感染防止対策も万全な準備をしていたが、開催直前に感染者が増加したために残念ながら中止となった。参加予定事業者からは参加準備を直前までしていたにも拘らず又来年の開催を望む声を頂き、くまとり産業フェアは地元の事業者にとっては地元住民とのふれあいの場として大きな役割を果たすイベントとなっている事が確信できた。</p>										
(1) 単独事業										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
	創業セミナー	12	15	125.0%	94	創業に繋がった事業所	10%	0	0.0%	3
	地域ブランド くまとりやもん事業	20	14	70.0%	80	自店・商品等のアピール効果があった事業所数	70%	93%	132.7%	5
	情報発信事業	12	12	100.0%	86	自店・商品等のアピール効果があった事業所数	70%	100%	142.9%	5
○	BCP・BCM促進セミナー	17	14	82.4%	86	事業継続力強化計画書が作成できた企業	17	13	76.5%	4
○	キャッシュレス化推進セミナー	12	13	108.3%	80	キャッシュレス化についての理解度	70	87.6	125.1%	5
(2) 広域事業 (幹事事業のみ)										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

熊取町商工会

事業名		創業セミナー							
想定する実施期間		30 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	開業率が廃業率を下回っている現状が続いており、企業数は減少し続けている。地域を担う新たな起業家の出現が地域活性化に繋がると考える。創業にあたり、必要な手続きに関する基礎的な知識が不足している方も見受けられる。については、スムーズな創業を可能にするため、必要とされる手続きや知識・企業に向けた心構えを身につけていただき具体的なビジネスプランの作成を支援し、事業化を実現させることで、管内の産業活性化を図る。また創業後5年程度の方や不安のある方にも参加頂き、自社の経営を見直す機会としてもらう。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	熊取町内外で創業を希望される方・創業後5年以内の方							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>★創業セミナー</p> <p>【時期】10月 テーマ毎に分けて4回実施</p> <p>第1回 10月3日 テーマ：経営 講師：大阪府よろず支援拠点 中小企業診断士</p> <p>第2回 10月31日 テーマ：販路開拓 講師：大阪府よろず支援拠点 中小企業診断士</p> <p>第3回 10月17日 テーマ：財務 講師：大阪府よろず支援拠点 中小企業診断士</p> <p>第4回 10月24日 テーマ：人材育成 講師：大阪府よろず支援拠点 中小企業診断士</p> <p>【場所】熊取町商工会館 3階 研修室</p> <p>【参加費】無料</p> <p>※創業の心得・開業に伴う手続き・税務関係・公的融資制度の紹介・創業計画書作成のポイント等の内容を定稿</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p>							
		①府施策連携							
		②広域連携							
	③市町村連携	広報誌や掲示板を利用した広報の協力							
	④相談相乗	セミナー受講者に対して、創業支援や販路開拓支援などを実施。また、カルテ化までには至っていないが個々の状況にあった指導も行う。							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	12社	支援企業数(実績)	15社	支援実績率	125.0%	満足度	94
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>予定していた支援企業数を上回る15名の方に参加していただき目標は達成したと考える。満足度についてもアンケートにもあるように創業に向けた取組について理解をいただけました。創業するにあたり、個別で熊取町で実施している創業支援補助金の説明や特定創業の融資枠拡充の相談も実施致しました。</p> <p>また、セミナー参加者の中には(株)日本政策金融公庫にて開業資金の申込をされた方もおられたが立地条件や採算性において開業を断念された方がおられる。(飲食店事業)</p>							
		代表指標	創業に繋がった事業所						
		数値目標	10%	実績数値	0	目標達成度	0.0%		
	成果の代表事例	パティシエの経験を活かしたお店の開業を目指してセミナーを受講し日本政策金融公庫の融資相談、申込まで行ったが新型コロナウイルス感染症の影響は想像以上に長引き、創業への不安材料の一因となったものと思われる。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				

実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	アンケート内容から創業セミナーを開催することにより、以前から独立開業を考えていた方や起業して間の無い事業者に対して知識を得ていただけたと感じております。また、テーマ別に実施することにより理解を深めていただけたと実感する。今回は、台風の接近に伴い、延期をした受講日もあり、受講者には日にちの調整等で迷惑を掛けてしまいました。次回からは開催月を6月又は7月に変更し、台風の影響がすくない時期に開催を実施を検討する。また、講師を大阪府よろず支援拠点コーディネーターの中小企業診断士の資格を有した方々をお願いした結果、受講者の反応も良く、講習会終了後も個別の相談を受け付けるなど参加者にとっては、相談事がワンストップで解決し大変喜ばれた。来年度は一人でも多くの方が創業出来るよう商工会がパイプ役になり個々にあった支援を実施出来るようにしていきたい。
------	----------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

熊取町商工会

事業名		地域ブランド くまとりやもん [♪] 事業																																							
想定する実施期間		2 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること																																							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	大阪府南部に位置し、美しい水と緑に囲まれた熊取町には品質に優れた農作物やこだわり溢れる加工品が数多くあります。この「熊取らしい魅力」を備えた優れた産品を伝えていきたいという想いから「くまとりやもん [♪] 」としてブランド認定する制度を創設しました。令和2年度より、大阪ミュージアム構想に登録している『熊取交流センター 煉瓦館』にて毎年開催している既存イベント内で地域ブランド情報発信として行政と連携し、地域の魅力がいっぱい詰まったブランド認定商品及び優れた地元産品を効果的に地元名産品として認知度の向上と特産品・商品開発に取り組む事業所を増やし、商工業の活性化を目的に実施。また、熊取ブランドとして認定された商品のホームページを作成し、商品・製品・事業所の紹介も実施する。																																							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	くまとりやもん [♪] 認定事業所及び優れた地元名産品を製造されている事業所																																							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>場 所 熊取交流センター（煉瓦館） 出店企業 14社 開催日 10月23日（金）～11月12日（木）</p> <p>※当初は、7月4日（土）に開催を予定していた七夕イベントと同時開催で計画を立てていたが新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、施設の利用制限があり断念する。時期をずらし新型コロナウイルス感染症拡大の落ち着いた時期に再度検討し実施に至る。新型コロナウイルス感染症の拡大が終息を迎えていない中での開催であり、人と人との接触を限りなく少なくする手法としてパネルでの商品PR活動を実施。</p> <p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td colspan="7">施設の提供。くまとりやもん[♪]認定事業所への周知。</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td colspan="7"></td> </tr> </table>								①府施策連携								②広域連携								③市町村連携	施設の提供。くまとりやもん [♪] 認定事業所への周知。							④相談相乗							
	①府施策連携																																								
②広域連携																																									
③市町村連携	施設の提供。くまとりやもん [♪] 認定事業所への周知。																																								
④相談相乗																																									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	14.0	支援実績率	70.0%	満足度	80.0																																
目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	自店・商品等のアピール効果があった事業所数																																							
	数値目標	70.0%	実績数値	92.9%	目標達成度	132.7%																																			
	成果の代表事例	地域ブランド くまとりやもん [♪] をパネルにてPRする事で、認知度も高まり商品を目にした方から問い合わせや商品をお買い求めに来店してくれた。																																							
その他目標値の実績	目標値(計画)	1,000	目標値(実績)	1796	目標達成度	179.6%																																			
	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う中での実施でもあり、来館される方も少ない状況でした。3週間の期限を設けて実施しました。※実績の数値については、施設に訪れた方をカウントしたものである。																																								
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	新型コロナウイルス感染症の終息が見えない状態での開催は、想定以上に難しい問題がありました。特に室内での開催になると3密の空間が出来やすく感染拡大を助長する恐れがある為、今後の実施に関しては、新型コロナウイルス感染症が終息するのを待ってから再度、検討したい。																																							

熊取町商工会

事業名		情報発信事業								
想定する実施期間		23 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	熊取図書館施設内、商工会展示ブースにおいて、熊取町内の商工業の製品・商品や企業PR・旬の企業情報等を発信する場を提供することにより、町内外の方々に幅広くアピールし、町内商工業の認知度を高めることにより、町内企業との商談・購買等へと促すことにより企業のアピールの一助として活用、情報発信をしていき、ひいては町内商工業の振興・活性化を促していく。また、企業PRの内容に合わせて図書館の本を隣接して展示する事により、企業商品や事業内容などより親しみやすい企業PRが実施出来る取組にも力を入れている。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	町内全事業所								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	熊取図書館内に設置された、商工会展示ブース1枠を1企業1か月単位で展示し、企業の製品・商品等をアピールし商工業の販路開拓の一助とし活用を促していく。また、展示内容と本を使った相乗効果を図るディスプレイを実施し、図書館だから出来る情報発信を提案していく。 募集については、DMや指導員が巡回時に紹介等を行い新たな広報の手法の一つとして活用を促す。								
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携								
	②広域連携									
	③市町村連携	町と商工会が連携を図りPR等の啓発を促しより多くの方々に来館頂く。また出展企業においては、展示素材の選定やディスプレイ・顧客等の対応等販路開拓についての支援を行う。								
	④相談相乗									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	12.0	総支援企業数(実績)	12.0	支援実績率	100.0%	満足度	86%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	各々の企業が製品・商品やサービス等をPR、情報発信することにより、多くの方々の目に留まり新たな顧客の獲得や売上の向上や企業のプレゼンテーションを考える機会を与えることにより、意識の変化や事業活動に活力を与える。								
		代表指標	自店・商品等のアピール効果があった事業所数							
		数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%			
成果の代表事例	企業PRをきっかけに定期的に図書館前にてコーヒー等の販売の依頼があり、キッチンカーにて販売の機会を得た。コロナ禍の中で、イベントが軒並み中止になる中で、販売の機会が得れたことがきっかけとなり、自宅前での定期的な販売実施時にも来店に足を運んでもらえた。									
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、臨時休館や外出自粛等で来館者数にバラつきがあり、企業PRでも実施時期により効果的な面に差は感じられた。ただ、PRに意欲的な企業も多くありピンチをチャンスと捉え、展示の機会が持てたことが良かったとコメントをいただく。今後は、図書館と事業所をタイアップしたまちゼミ的なコラボなども取り入れていきたい。								

熊取町商工会

事業名		BCP・BCM促進セミナー							
想定する実施期間		2 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	中小零細企業においては、日常業務に追われ災害等によるリスクが発生した場合の対応力等を認識していないのが現状である（中小企業のBCP策定率は約2割に届いていない）。南海トラフ巨大地震などの発生時においても資産や人材等の被害を最小限度に留め、事業が中断しても早期に事業再開や復旧が可能になるよう、日頃より緊急時の対応を準備する事で、緊急時に製品などの提供が出来る企業として新たな顧客の獲得、企業の競争力アップに繋げる為に、基礎を学び事業継続の可能性を最大限に見出すこと。また行政と一体となり事業継続力強化支援計画の認定申請を行いその中においても5年計画で目標数値を掲げBCPの普及推進を目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	熊取町管内の事業所							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	BCP・BCMの普及、啓発セミナーを行う。実施時期、講師の選定等については熊取町商工会が大阪府担当課と連携し日程調整を行う。大阪府商工会連合会の事業継続計画（BCP）策定支援事業と連携して、事業所へ「BCP策定ガイドライン」や国の「レジリエンス認証制度」の紹介に努め、その必要性、基礎知識を習得、BCP・BCMに対する意識向上を図る。 ★BCP策定支援普及セミナー 【時 期】11月9日（月）午後2時～午後5時 【講 師】SOMPOリスクマネジメント（株）BCMコンサルティング部 【場 所】熊取交流センター コットンホール 【参加費】無料							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	府施策連携 商9番						
		②広域連携							
③市町村連携	熊取町広報誌及びWeb媒体等を活用し参加事業所を募る。								
④相談相乗									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	17.0	総支援企業数(実績)	14.0	支援実績率	82.4%	満足度	86.0
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	セミナーでは、大阪府が推奨する『超簡易版BCPこれだけは！シート』を完成させるまでの工程を講師の説明とWebを活用して実施。受講された方は、熱心に策定に取り組んで頂きました。今回、BCPを策定したことにより、自然災害に対して現実的に捉える事ができ、危機管理を高める事が出来た。							
		代表指標	事業継続力強化計画書が作成できた企業						
		数値目標	17社	実績数値	13社	目標達成度	76.50%		
	成果の代表事例	セミナー受講された事業所は、事業を存続させる為にはBCPは必要不可欠であり、災害がいつどこで発生しても問題がないよう、BCPの策定とBCMの構築が重要であることを認識してもらい理解も深める事が出来た。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	今回のセミナーをした事により、セミナー受講企業のBCP策定の一助となった。ただ、未だに中小企業ではBCPの認知度は低く、今後もBCPの必要性について、セミナー開催だけではなく、窓口・巡回相談時など説明をする機会を増やしていく。							

熊取町商工会

事業名		キャッシュレス化 推進セミナー							
想定する実施期間		31 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	現金の決済をカードや電子マネーなど電子決済に変えていくキャッシュレス化に関心が集まり、政府も推進の旗を振っている。政府がキャッシュレス化を推進する一つの理由は、インバウンド消費の促進である。ところが町内の小さな飲食店や小売店では、クレジットカードが使えないところが多く、潜在的な外国人の消費需要を取りこぼしているという問題がある。このような事からセミナーを通じてキャッシュレス化の認識を高めてもらう。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	町内外の小売店及び飲食店等							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>★JPQR入門セミナー</p> <p>【時 期】令和2年10月9日(金) 14:15～15:45</p> <p>【場 所】熊取交流センター煉瓦館 講義室A</p> <p>【参加費】無料</p> <p>【講 師】JPQR事務局所属講師</p> <p>【テーマ】統一QRコード「JPQR」について</p> <p>※総務省JPQR普及事業とマイナポイント、本事業で推進するJPQRの特徴、JPQRの申込み方法</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p>							
		①府施策連携	府連携をする事でセミナーの的確な開催方法、講師依頼方法などセミナーの的確な開催方法を指導して頂き参加者にとって満足いくセミナー開催となった。						
		②広域連携							
		③市町村連携	熊取町と連携をする事で事業の開催を町広報に掲載し幅広くPRが出来た。						
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	12.0	総支援企業数(実績)	13.0	支援実績率	108.3%	満足度	80.0
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今回のセミナー参加者はJPQRに興味を持っての参加の方や現在お店でキャッシュレス決済を何社とも提携を結んでいる事業所など多種多様であった。セミナーの内容としてはJPQR基本的な特徴、マイナポイントとの関係などメリットやデメリットをわかり易く説明をして頂け受講事業者の理解度と導入の意欲が高揚した。セミナー終了後も講師に直接導入に向けての質問など積極的な事業所もありJPQRの導入を推進する事が出来た。							
		代表指標	キャッシュレス化についての理解度						
		数値目標	70%	実績数値	87.6%	目標達成度	125.1%		
	成果の代表事例	事業所自体にはキャッシュレスやJPQRは今のところ導入の必要がないものの会計事務所として顧問先のお客様にキャッシュレスやJPQRを導入する事で事業を優位に展開できるなどの指導や推奨でき顧問先への満足度を上げるようJPQRなどのキャッシュレスへの最低限必要な知識習得のためにセミナーに参加して頂けた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	国が2025年までにキャッシュレス比率を40%と目標を掲げた事で小規模事業者にとって今後事業を継続していく上では必要不可欠なものとなる事が予想される。そのような状況下で令和元年度はキャッシュレス、令和2年度はJPQRの導入についてのセミナーを開催しました。この2回のセミナーを基盤として次のステップとしてキャッシュレスを導入して顧客獲得の手法などのセミナーを開催を計画したい。							